

# 山と博物館

「山と博物館」は、大町市役所および市内社会教育施設で、設置・配布しているほか、博物館公式 Web サイトからもご覧いただけます。

## 10月号

第59巻 第9号  
 2014年

無料  
 Free

も  
く  
じ

今月の1枚	1ページ
・画家の先生といっしょに北アルプスを描こう!	
展示・イベントのご紹介	2ページ
・企画展「日本山岳画協会大町展」のみどころ(3)	
博物館ひろば	3~4ページ
・板橋区立エコポリスセンターでの活動	
・みんなで温暖化ウオッチ セミのぬけがらを探せ!	
・八坂小学校児童クラブ出張講座	
・大町北小学校の職員研修 ほか	



画家の先生といっしょに北アルプスを描こう!

さんぱくこども夏期大学

清水 隆寿

本年度4年目となる、さんぱくこども夏期だいがく。今年は企画展「日本山岳画協会 大町展」が開催されているのにあわせ、「画家の先生といっしょに北アルプスを描こう!」と題し、夏休み期間中の8月7日(木)に写生教室を開催しました。小学校1・2年生を中心に17名の児童とご家族10名、当日講師となつていただいた日本山岳画協会会員の若林晴男、中村勝久、千葉潔先生方、そして博物館実習生4名が絵筆をもって、北アルプスとじっくりと向き合いました。千葉先生が語る「そっくりに描かなくていいよ。自分が心に感じた印象を、自由に描いてごらん。」そんな言葉に子どもたちは肩の荷がおりたのか、一心にふるさとの山に向かい、のびのびと個性溢れる自分の山を描ききり、忘れられない思い出の一日になったのではと思います。「おかあさん、もっとうまくなりたい」「ぜひ秋の紅葉の時期にもこ

うした絵画教室をやつて」という言葉に勇気づけられ、またお孫さんときたおばあちゃんが「40年ぶりに絵を描きます」と言いながら嬉々として絵筆をはしらせる姿に、きっかけづくりとしての博物館の役割の大切さも感じた一日でした。

千葉潔先生は語りかけます。授業で国語や算数の勉強は「頭」の栄養、体育は「体」の栄養とすれば、図画工作や音楽などは「心」に栄養を与えるものだ。絵を描くことは自分の目で見、心で感じ、頭で考えたことを画用紙に引越ささせること、すなわち心の中の思い(見えないもの)を、みんなに理解できるように(見えるように)することだと。そこに楽しさとすばらしさがあると話してくださいました。皆さんもこの秋、子どもの頃を思い出し、絵筆をもって心の栄養補給をされてみてはいかがでしょうか。

(大町山岳博物館学芸員)

# 展示・イベントのご案内

## 企画展「平成26年度 日本山岳画協会 大町展」のみどころ(3)

今回は、「日本山岳画協会 大町展」第Ⅱ部テーマ「北アルプスを中心とした山岳画」(会期:9月17日(水)～11月24日(月))において展示する作品について、作家自身により描かれた時のエピソードや作品の解説を紹介させていただきます。



「高山から北アルプス」

くまがい  
**熊谷**

かや  
**榎**

京都府生まれ、現在神奈川県在住。日本美術会々員、豊島区立熊谷守一美術館館長。

### 第Ⅱ部 (1) 作品名「高山から北アルプス」油彩画 M50

大町展第Ⅱ部は、北アルプスがテーマだという。かつて若かりし頃、いくたび槍・穂高に登ったことだろう。北穂高小屋に入りびたって、滝谷で岩登りをしたことも遠い昔だ。そこで描いた絵がたくさんあったのに、あまり手許に残っていない。仕方がないので今春の高山展のときに描いた「高山から北アルプス」を出すことにした。自分で登った足許の山が好きでパノラマはあまり好きではないのだが。

### (2) 作品名「八ヶ岳と蓮花」油彩画 F20

たにくちみつ  
**谷口満子**

京都府生まれ、現在東京都在住。示現会々員。

### 第Ⅱ部 (1) 作品名「仰ぎ見る槍ヶ岳」油彩画 F50

昨年9月末、初秋の槍ヶ岳に登りました。あえぎあえぎ槍沢を登った先で、抜けるような青空の下、すっと立つ槍ヶ岳を見た時、叫びたいような感動を覚えました。宇宙に続くような空の色も、堂々とした山の姿も、全部描きたいと欲ばりました。

### (2) 作品名「朝焼け」油彩画 F15



「仰ぎ見る槍ヶ岳」

ほその きよつぐ  
**細野清嗣**

東京都生まれ、現在千葉県在住。無所属。水彩画。

### 第Ⅱ部 (1) 作品名「秋色遠望(鹿島槍ヶ岳・五竜岳)」水彩画 F50

後立山連峰は、北アルプス北部に位置し、剣・立山連峰と黒部深谷をはさんで対峙する連峰で、白馬岳・五龍岳・鹿島槍ヶ岳・爺ヶ岳・針ノ木岳など南北に連なっている。残雪期の雪形をみて耕作の時期をきめたり、山麓の人々に親しまれている。この絵は小川村の高所から、紅葉の山々の向こうに新雪を冠した鹿島槍ヶ岳(2889m)・五龍岳(2814m)を描きました。両峰とも日本百名山に名を連ねています。

### (2) 作品名「水晶岳(雲ノ平から)」水彩画 F10



「秋色遠望」

すどうたくお  
**須藤卓男**

東京都生まれ、現在東京都在住。創元会々員、日本山岳会々員。

### 第Ⅱ部 (1) 作品名「雲海」油彩画 F30

※現在、病氣療養中の為、作者自身による作品のご紹介はできませんが、第Ⅰ部に引き続き、奥行き深い雄大な作品をご堪能ください。

### (2) 作品名「八ヶ岳山麓」油彩画 F20



「雲海」

わかばやしはるお  
**若林晴男**

神奈川県生まれ、現在長野県在住。元白日会々員、大町美術会々員。

### 第Ⅱ部 (1) 作品名「山村雪景(鹿島槍ヶ岳)」油彩画 F40

大町市と合併した元美麻村新行で描いた鹿島槍ヶ岳とその麓の風景を描いた作品である。テーマは鹿島槍ヶ岳だが、村落の佇まいに日常の生活感を描き込みたいと思い、そのことを意識して制作しました。

遠景の山、中景の樹林と村落、近景の雪田、殆んど変わることない1～3月の新行風景です。強いて言えば、ここ数年の間に改築した家、新築して増えた家、屋根雪を早く融かす為の電気工事をした民宿など、二・三の変化は認められても大きな自然に抱かれたこの風景は何年経っても変わらないだろうと思います。

### (2) 作品名「安曇野晩秋」油彩画 P15



「山村雪景」

わたなべりょういち  
**渡邊良一**

福島県生まれ、現在千葉県在住。示現会委員。

### 第Ⅱ部 (1) 作品名「ポプラと杏」油彩画 F25

フンザ村のホテルの庭からの眺め。スケッチする人はどこにも見当たらない。私の後ろで羊飼いの子供が、一人熱心に観ているヒマラヤ山脈のウルターール山。

ポプラと杏の花、白い雪山、澄み切った青空、生涯忘れることが出来ません。もう一度行きたい所です。

### (2) 作品名「新緑の白馬」油彩画 F15



「ポプラと杏」

# 博物館のひろば

さんばくこども夏期だいがく  
「みんなで温暖化ウオツチ セミのぬけがらを探せ!」  
平成26年8月8日(金)実施



この講座は、地球温暖化が身近な自然にどのような影響を及ぼしているのかを知るために、毎年同じ場所でセミのぬけがらを調べ続けることで、その変化から地球温暖化の地域への影響について考えるものです。今回は、103個のセミのぬけがらが見つかり、セミの種類は7種、アブラゼミが一番多く確認されました。昨年とはたくさん見つかったエゾゼミが少ない(今年は羽化時期が遅い?)という結果でした。

この講座は、長野県環境保全研究所と市立大町山岳博物館連携・協定記念事業として開催しました。

板橋区立エコポリスセンターでの活動  
平成26年7月19日(土)～8月31日(日)開催



東京都板橋区エコポリスセンターでは、人間と環境について学び、行動し、参画できる地域住民のサポート活動をしています。

国の特別天然記念物に指定されているライチョウは、さまざまな要因により絶滅が危惧されています。

山岳博物館提供の資料をもとに、ライチョウの生態や生息環境、博物館での飼育の取り組みから、環境問題について考えていただくために「雲上の霊鳥・ライチョウーその生態と未来ー」を展示し、多勢の来館者から好評をいただきました。

夏休み子どもエコスクールでは、8月24日(日)に当館専門員が「化石を掘り出そう」と題した講座も行いました。

大町北小学校の総合的な学習と理科授業  
平成26年8月22日(金)実施



大町市内の博物館を活用した体験学習として、大町北小学校4年生(2クラス66名)が、総合的な学習と理科授業で山岳博物館を訪れました。

授業の内容は、楽しめる手法を用い、目的を絞って集中できる内容を考え、1階展示室では、昔の山仕事の道具を見たり、山小屋のビデオを見て当時の山小屋での生活を理解する。2階展示室では、理科授業として、カモシカ・ライチョウの標本を観察し生態を学ぶ。3階「展望ラウンジ」から市内を眺めながら大町市の概要について学ぶ、という内容を中心に実施しました。

八坂小児童クラブでの出張講座  
平成26年8月8日(金)実施



夏休み期間中、児童クラブ参加者の小学生を対象に話をしてほしいとの依頼を受け、大町市立八坂小学校内の八坂小児童クラブで学芸員による出張講座を実施しました。

指導員の先生からの事前要望をふまえ、前半は常設展と博物館の創設経緯を紹介し、登山用リュックサックを背負う体験を行いました。後半は、「やさかの宝」さがし」と題したワークショップを行い、八坂地区の「宝」(自慢したい、大切にしたいと思う地域の自然や歴史などの良いところ)を班に分かれて参加者全員で出し合い、班ごとで模造紙にまとめました。

「次は博物館で実際の展示資料を見てみたい!」との声が聞かれ、今後の学習へつながる活動となったと考えます。

山岳博物館 市民「無料」開放デー

博物館では、毎月第3日曜日(家庭の日)とその前日の土曜日を「大町市民無料開放デー」としています。10月は18日(土)と19日(日)です。

針ノ木大雪渓・大沢小屋見学会  
平成26年9月3日(水)実施



仁科台中学校1年生の総合的な学習の時間とした野外授業を、自然科学系学芸員がお手伝いしました。

この総合学習は、「大町を知る」をテーマとして、大町の山岳についてを学ぶにあたって、針ノ木峠はとても重要な位置にあることを知り、実際に針ノ木大雪渓に行き、その自然に触れながら一帯に生息している動植物を観察し、途中にある「大沢小屋」の見学と、針ノ木峠について歴史から北アルプスと人とのかわりについて考えてみたいと実施したものです。

大町北小学校の職員研修  
平成26年8月18日(木)実施



夏休み期間中、大町市立大町北小学校の先生方の研修が山岳博物館で実施されました。この研修は、「地域にある博物館を理解する」「博物館を活用した授業づくりの見通しをもつ機会とする」という目的による施設見学でした。

当日は校長先生と教頭先生を含む16名の先生方が訪れ、学芸員が当館を利用した小中学校での学習状況について説明し、常設展示を案内・解説しました。

今春のリニューアル後、はじめて来館された先生方がほとんどで、小学4年生の理科と社会科での授業に対応して今回改修した各展示コーナーを含め、どのように展示がかわったのかを実際にご確認いただく大変良い機会となりました。

つぎの方は、年間を通して博物館の観覧料が無料です。  
 ・大町市内在住の65歳以上の方  
 ・大町市内の小学校・中学校に通う児童・生徒の方  
 (入場の際、受付にてお名前等をご記入ください)

### 仁科台中学校の職業体験学習

平成26年9月3日(水)・4日(木)実施



山岳博物館では、中学生や高校生を中心に職業体験学習の受入れを実施し、地域における社会教育施設として、学校教育におけるキャリア教育推進に協力し取り組んでいます。

この度は、仁科台中学校2年生2人が職業体験学習を行いました。飼育員といっしょに餌の調理・給餌、飼育舎の清掃、園内の整備という通常業務を一通り体験していただきました。「生き物が大好きなので、忙しい作業も苦にならず、1日の作業がとても楽しかった」という感想をいただきました。

今後の進路の参考にできれば幸いです。

### 美麻小中学校4学年の理科連携授業

平成26年9月12日(金)実施



美麻小中学校4年生(7人)が、理科の授業で山岳博物館を訪れました。この授業は、「生き物のくらし、人の体のつくりと運動」を学ぶ単元で行われました。

大町市の鳥「ライチョウ」の実物標本(剥製)を多数用いて、四季による生活や形態の違いについてを学び、大町市の獣である「カモシカ」の骨格標本をスケッチすることを通して、関節のつくりや動き方、人との違いなどをじっくりと観察することで学習理解を深める構成です。

今後も、さまざまな単元に対応した学習プログラムを提供していきたいと考えています。

### 公民館講座の親子教室の

### みなさんが見学



未就学児とその保護者を対象に、親子のふれあいを大切にして楽しく遊ぶ。友達との遊びや集団行動をとおして、思いやりや自発性を育むことを目的として、7月24日には大町公民館(親子60人)、8月27日には常盤公民館(親子50人)のみなさん【写真】が、大町公園で遊び、付属園でいろいろな動物を見ながらスタンプを集める「スタンプラリー」を体験しました。館内見学では、実物の標本を見て驚いたり、あつという間に時間が過ぎていたようでした。

### 信州環境フェア

8月23日(土)・24日(日)開催



信州環境フェア実行委員会の主催で長野市ビックハットを会場に「第14回信州環境フェア2014」が開催されました。長野県は美しく豊かな自然に恵まれています。現在の生活は利便性や豊かさの一方で地球環境に影響を及ぼし、社会のあり方や個々のライフスタイルを見つめ直す時期にきています。

「信州山の日」制定を記念した「信州の博物館大集合」のブースでは、「山と自然」をテーマとした県内の博物館23館による展示が行われました。

山岳博物館はライチョウの剥製を展示し、ライチョウの特徴や生活の紹介、その未来についてパネルで解説しました。

### 美麻公民館高齢者学級

平成26年9月2日(金)実施



防災の日である9月1日の翌日に、美麻公民館高齢者学級で専門員が、「身の回りの地質と自然災害を学ぶ」と題した講演をしました。

異常気象といわれる昨今です。広島地方をはじめとする大雨による土砂災害が各地で頻発しています。ここ大北地域でも梅雨時や台風シーズンでの豪雨による災害が過去に何度か発生していますので他人ごとではありません。

過去に長野県下で発生したいくつかの災害事例を紹介しながら、それらがその地域の地質状況とも密接に関係していること、身近な大地のことに目を向けながら災害に備えることが大切であることなどをお話しました。

### 大人の遠足 信濃大町でバスツアー

平成26年9月6日(土)実施



FM長野アナウンサー伊織智佳子さんと一緒に、恋人の聖地 信濃大町でバスツアーが開催されました。

開通50周年を迎えたトrolleyバスに乗って「黒部ダム」を訪ねた後、ランチに大町の郷土料理!を召し上がり、おなかがいっぱいになったところで、リニューアルオープンした当館にお立ち寄りいただきました。

山博友の会サークル「ボランティアの会」により、大町の町並みや暮らしなどの魅力を語っていただき、展示ではゆつくりと山と人のかかわりを学んでいただきました。

参加者の皆さんは、夏の信濃大町をご堪能されていました。